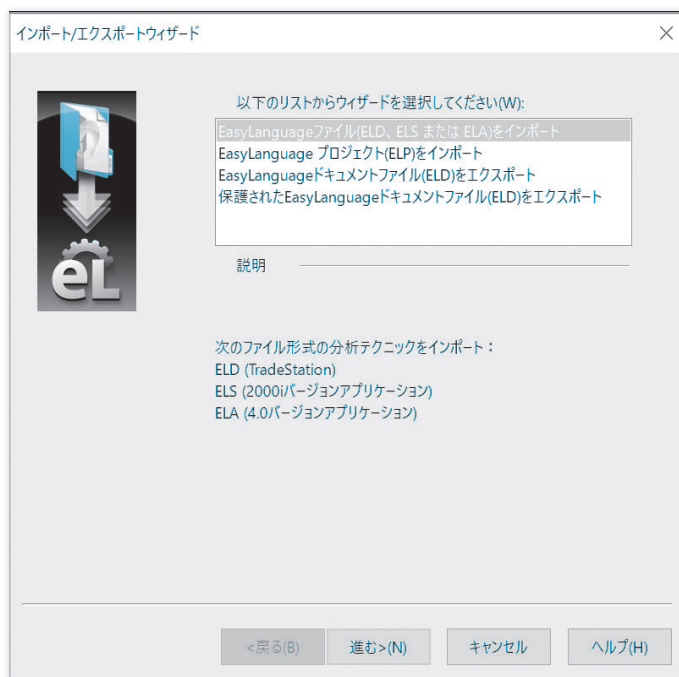


ラムを検証すると、エディタ下部の［アウトプット］欄に「この単語はスタディでは使用できません。」というエラーが返ります。

初めのうちはエラーの表示通り[単語]にエラーがあると考え、単語のスペルミスを疑いますが、実は選択していたファイルの種類が間違っていたというケースがあります。このようなミスを防ぐために、ファイルの新規作成時にはインジケータを開発するのか、ストラテジーを開発するのかをはっきり意識してファイルの種類を選択するようにしましょう。

ELDファイルのインポート

自分のトレストに搭載されていないインジケータやストラテジーなどを使用する場合の続きが「インポート」です。トレストフォーラムやインターネット上で配布されているELDファイルを自分のエディタに取込んでプログラムを参照したり使用したりすることができます。エディタのメニューバーから［ファイル］→［インポートおよびエクスポート］→［イン



● ELDファイルインポート画面

ポート／エクスポートウィザード］が起動 → [EasyLanguage ファイル (ELD、ELSまたはELA) をインポート] を選択 → [進む>] → [インポートウィザード] が起動 → [参照] からELDファイルが置かれている場所（ディレクトリ）を選択 → [進む>] → [分析種類] を選択 → [進む>] → [使用可能な分析テクニック] からインポートするELDファイルを選択 → [終了] でインポート終了です。

インポートが成功した場合、「分析テクニックのインポートが完了しました。」と表示されます。

ELDファイルのエクスポート

インジケータやストラテジーはELDファイルとして保存されます。このファイルをエクスポート（外部出力）し第三者に配布することができます。エクスポートしたELDファイルは、メールに添付したりトレストフォーラムにアップロードするなどの方法で配布することができ